

施策	2102 景観形成の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民、事業者							
施策が目指す姿	歴史や伝統を活かした個性的な景観・街並みの形成等を図る。							
成果指標	: 修景工事を実施した建築物の総数...5年間で111戸（現状値107戸）（指標単位：戸） : 景観に関する大規模行為の年間届出件数...年間で20件（現状値32件）							
目 標 達 成 状 況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1 []	予定	105.00	108.00	109.00	110.00	111.00	
		実績	107.00	109.00				
	成果指標2 [件]	予定	15.00	20.00	20.00	20.00	20.00	
		実績	32.00	30.00				
		単位コスト	1,601.16	1,885.03				
	成果指標3 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 []	予定						
実績								
単位コスト								
トータルコスト (千円)	予定	51,691	58,502	0	0	0		
	実績	51,237	56,551			0		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標である「美しい景観形成に対する市民満足度」を向上させるためには、景観形成の充実は重要であり、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。						
	達成状況	成果指標については、実績が予定を大きく上回っている。						
	課題	成果指標は達成しているが、景観形成の充実には、市民の理解と協力が不可欠なことから、啓発活動の在り方、手法について検討が必要である。						
	取組方針	達成度が高い事業については引き続き事業を推進するが、景観に関して市民の理解と協力が得られるよう、景観計画に基づき啓発活動を行い、事業の推進を図る。						
外 部 評 価	公共サインガイドラインが策定されたことにより、今後新たに統一された案内看板等が整備されていくことと思われるが、現在の案内看板等で樹木の影などで見えづらい場所がある。今後の整備と併せて適正な管理が必要である。 良好な景観形成を図るうえで、道路沿いや巴波川周辺等に花壇の整備やプランターを設置するフラワーロード事業や、街路樹の整備を提案する。 今後は、景観条例や景観計画に基づき各地域独自の景観事業を推進すること。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	432201	街なみ環境修景事業費				10,617	100	
	432301	都市景観形成事業費				10,529	100	
	432501	屋外広告物指導事業費				8,178	100	
	432701	伝建まちづくり事業				16,401	100	
	434401	栃木駅周辺地区景観形成基金積立金				76	100	
	432101	まちづくり資金融資預託金				10,750	10	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080406	予算事業コード	432201	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	街なみ環境修景事業費										主	2102	暮らしやすい都市の創出	景観形成の充実			
担当部課 係・担当チーム名	都市整備部 都市計画課 計画景観担当 景観チーム					担当者	下司 克之					従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市歴史的町並み景観形成要綱								事業期間	H13 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	244,175	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 歴史と伝統を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、大通りや巴波川周辺を歴史的町並み景観形成地区(約48ha)に指定し、地区内の歴史的建造物、非歴史的建造物、工作物等の修景保全により、歴史的な町並み景観の形成を図る。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 栃木市の大通りを中心に集積している「蔵」をメインとした景観形成を行うことにより、市民が誇りと愛着を持てる歴史的な町並み景観の形成を図る。					
	成果目標	: 修景工事を実施した建築物の総数...5年間で111戸(現状値107戸)(指標単位:戸) : 景観に関する大規模行為の年間届出件数...年間で20件(現状値32件)															

単位:千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込														
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成25年度					平成26年度						
	県支出金	0	0		【事業の内容】 ・歴史的町並み景観の形成を図るため、要綱に基づく歴史的建造物等の修景事業等を実施する。					【事業の内容】 ・歴史的町並み景観の形成を図るため、要綱に基づく歴史的建造物等の修景事業等を実施する。						
	地方債	0	0		【成果】 ・歴史的建造物の修景補助件数 1件 ・要綱に基づく届出件数 25件					【成果】 ・歴史的建造物の修景補助件数 1件 ・景観形成重要工作物の修景件数 1件 ・要綱に基づく届出件数 30件						
	その他特財	0	0													
	一般財源	2,720	3,117													
	事業費 a	2,720	3,117													
	人件費 b	3,000	7,500													
減価償却費 c		0														
総事業費 a+b+c	5,720	10,617	指標名	算出方法					単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	1.00	2.00	修景補助件数	修景補助をした建築物等の件数の合計 H26目標値 2件					件		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	107.00	109.00	修景補助件数(累計)	修景補助をした建築物等の累計 H26目標値 109件					件							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)														
	・歴史的町並み景観形成地区は、町並みの保存を目的とした嘉右衛門町伝建地区と重複しているため、現状把握を行い、保全と保存の違いを明確にし、制度に関し整合を図る。 ・歴史的町並みを形成するための基準である修景基準及び補助制度見直しのための検討を行う。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事 様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 2 6 年度

会計	一般	款項目	080406	予算事業コード	432301	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	都市景観形成事業費										主	2102	暮らしやすい都市の創出		景観形成の充実		
担当部課 係・担当チーム名	都市整備部 都市計画課 計画景観担当 景観チーム					担当者	佐藤 賢一					従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		景観法、栃木県景観条例			事業期間	H 1 7 ~ H 2 9 年度			全体事業費 (人件費除)	18,000		千円		

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 良好な景観形成を図るため、景観法に基づく景観行政団体へと移行するとともに、景観計画等を策定し、各地域独自の景観行政を推進する。 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 景観計画等の策定を行い、市民・事業者・行政が一体となって各地域の特色ある景観を保全・誘導することで良好な景観形成を図る。				
						成果目標	: 修景工事を実施した建築物の総数...5年間で111戸(現状値107戸)(指標単位:戸) : 景観に関する大規模行為の年間届出件数...年間で20件(現状値32件)				

単位:千円、人		平成25年度決算額	平成26年度決算見込																								
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	平成 2 5 年度						平成 2 6 年度																
	県支出金		0	0	【事業内容】						【事業内容】																
	地方債		0	0	・良好な景観形成を図るため、県景観条例に基づく大規模行為届出事務を実施する。						・良好な景観形成を図るため、県景観条例に基づく大規模行為届出事務を実施する。																
	その他特財		0	0	・景観法に基づく景観計画を策定する。						・景観法に基づく景観計画を策定する。																
	一般財源		5,731	3,029	【成果】						【成果】																
	事業費 a		5,731	3,029	・大規模行為届出件数 32件						・大規模行為届出件数 30件																
	人件費 b		6,000	7,500	・景観計画(素案)の策定						・景観計画の策定																
減価償却費 c				0	・公共サイン整備方針の策定						・景観条例等の制定																
総事業費 a+b+c		11,731	10,529																								
結果指標 1		1.00	1.00	指標名	景観計画の策定			算出方法	計画書の策定 H 2 6 目標値 1 計画			単位	計画														
結果指標 2		32.00	30.00	指標名	大規模行為届出件数			算出方法	年間の大規模行為届出件数 H 2 6 目標値 2 0 件			単位	件														
				事業の事後評価 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>妥当性</td> <td>コスト削減の余地</td> <td>受益者負担</td> <td>上位貢献度</td> <td>類似事業の有無</td> <td>成果向上の余地</td> </tr> <tr> <td>妥当</td> <td>無</td> <td>適正</td> <td>有効</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> </table>												妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	妥当	無	適正	有効	無	有
妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地																						
妥当	無	適正	有効	無	有																						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)														
	・本市の特色を活かした景観の保全又は形成するために策定した栃木市景観計画に定められた推進方を順次進める。 ・景観形成重点地区、景観重要建造物及び景観重要樹木の指定に向けた検討を行う。 ・市民の景観に対する意識や理解を高めるための啓発活動に取り組む。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--